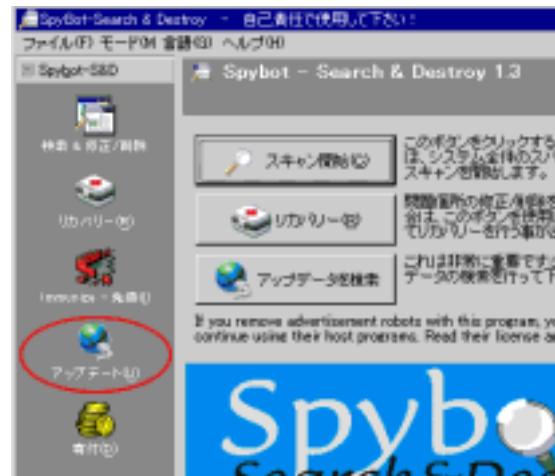
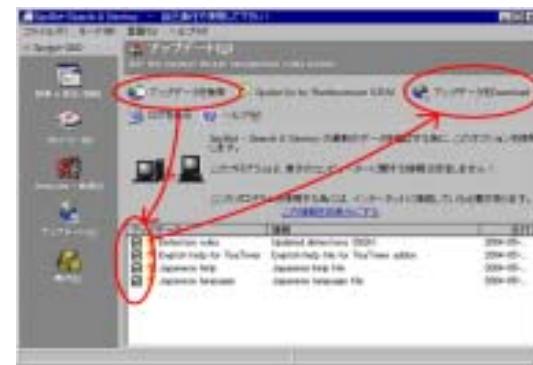


Spybot

スパイウェアの検索・駆除を開始する前にまず Spybot のデータを最新のものにしましょう。古いデータでは最新のスパイウェアを見つけられなかったり駆除出来ないことがあります。「アップデート」をクリックしてください。



最新のデータがあるかを確認するため「アップデータを検索」をクリックします。更新するデータが見つかった場合は下のボックスにアップデータが表示されるので、English~と書いてあるもの以外すべてにチェックを入れて、「アップデータを DOWN LOAD」をクリックしてください。



アップデートが完了するとチェックボックスが緑に変わります。
インストール・アップデートを行った後は一度 Spybot を終了させ、もう一度起動を行ってください。

スパイウェアの検索 & 駆除の仕方

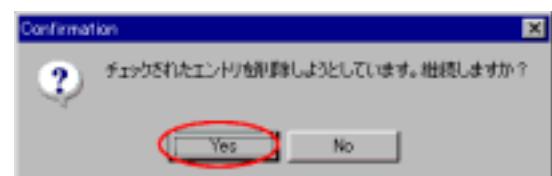
左メニューの「検索 & 修正/削除」をクリックし、右メニューの「スキャン開始」をクリックするとスパイウェアのチェックが始まります。



チェックが終わると発見されたスパイウェアのリストが表示されます。削除したいスパイウェアにチェックを入れ、「問題箇所を修正/削除」をクリックします。



YES をクリックするとスパイウェアの駆除が始まります。



駆除完了のダイアログが表示されますので「OK」をクリックしてください。



これでスパイウェアの駆除が完了しました。駆除したスパイウェアには緑色のチェックが付きます。

セーフモードで再スキャン

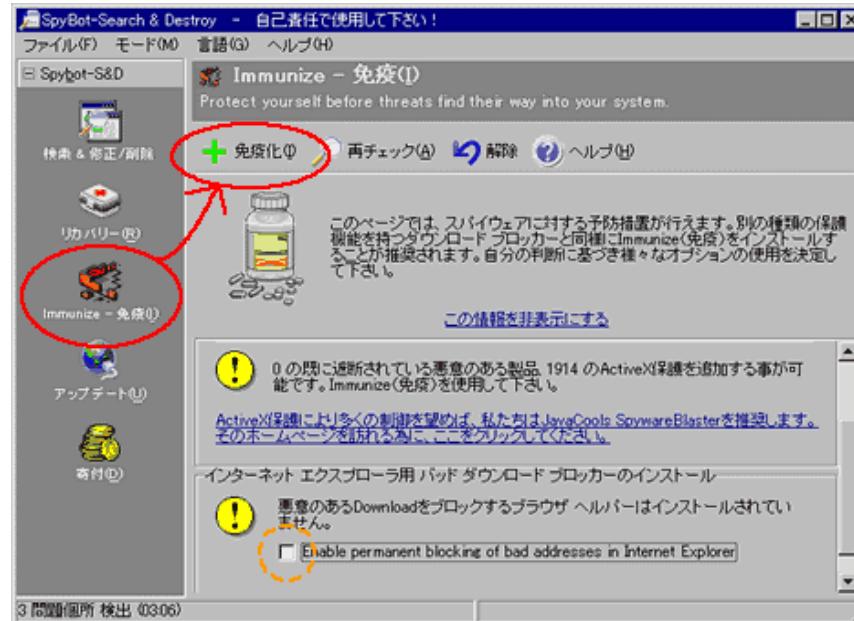
スパイウェアの中にはメモリに常駐したり、駆除ソフトの起動を察知して見つからないように形態を変えるものも存在します。それらのスパイウェアを見つけ、駆除するためにセーフモードでのスキャンも一度行っておくのをお勧めします。

Spybot の起動そのものが出来ない場合もセーフモードでなら起動出来る場合があります。

免疫化でスパイウェアを予防

駆除した後はスパイウェアの予防措置を施しておきましょう。

左メニューの「Immunize -免疫」をクリックし、右メニューの「免疫化」ボタンをクリックするだけでOKです。もしインターネットエクスプローラを使っている場合はオレンジ破線のボックスにもチェックを入れておきましょう。この免疫化はスパイウェアなど悪意のある製品のダウンロードを予防してくれます。



なお免疫化によりブロックされたクッキーを使っている一部のサイトへのログインができないことがあります。その場合は「解除」ボタンをクリックして免疫化を解くと再びログインできるようになります。

スパイウェアを復元するには

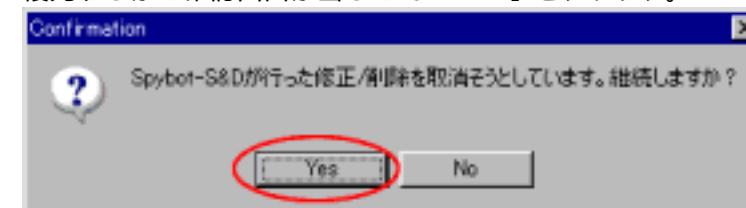
スパイウェアの中には駆除することでアプリケーションが使えなくなったり不具合が起こるものもあります。

その場合は以下の手順でスパイウェアを復元してください。

左メニューのリカバリーをクリックすると右下ボックスに過去に削除したスパイウェアのリストが表示されます。復元したいスパイウェアにチェックを入れ、「チェックを入れた項目を修復」をクリックしてください。



復元するかの確認画面が出るので「YES」をクリック。



注意事項が出るので「OK」をクリック。メッセージ通りにもう一度スパイウェアのスキャンをするのをお勧めします。

